

# 令和4年度事業報告

## 1. 概要

昨年は、引き続き新型コロナウイルスの影響に世界情勢の不安定さも加わり、日本経済や私たちの暮らしも大きな影響を受けた一年でした。

また、ここ数年のコロナ禍は、会員数や契約金額の減少など、シルバー事業に大きな影響を与えました。

令和3年度に落ち込んでいた契約金額高は回復基調にあります。会員数は下げ止まらない状況でした。

こうした中、就業機会や会員確保するため会員募集のリーフレットやホームページのアップなどや、関係団体への配布など実施して、シルバー人材センターの役割をPRするなど積極的に推進してまいりました。

また、県連合が行う空き家管理のためドローン・刈払機・植木剪定・介護施設運転・整理収納講習会に参加し、会員の受講者6名が資格を取得し後継者育成並びに会員拡大に繋げることが出来ました。

## 2. 活動状況

### (1) 安全・適正就業対策の推進

安全すべてに優先することを念頭に一人ひとりが自覚し、安全・適正就業に徹し事故防止に努めました。

・安全対策基本計画及び安全就業事業計画を策定し、安全対策の推進と安全意識普及啓発を行なった。

・安全・適正就業のパトロール隊による就業場所の巡回及び点検を実施した。

・安全委員会で事故発生の要因分析し再発防止に努めた。

・毎月「安全だより」を発刊し情報提供等を通じ、意識の高揚を図った。

・リーダーが中心になり、作業確認や安全就業等の始業前打合せを徹底した。

### (2) 公正・適正就業の推進

シルバー事業の基本である、臨時的かつ短期的就業また、軽易な業務を再確認し適正ガイドラインに従って、これまで契約してきた委任、委託や請負の一部を派遣に切替えた。併せて、ローテーション就業も推進した。

### (3) 普及啓発活動

シルバー人材センター事業の基本理念と内容について、地域住民や企業の方々に理解と協力を得るため各事業所管内（大月・都留・上野原）各々あらゆる機会を利用して普及啓発活動を行ないました。

- ・普及啓発用チラシ、パンフレットによる PR 活動を行った。
- ・ホームページによるネット社会に対応した PR 活動をした。

### (4) 就業機会の開拓及び提供

- ・会員の希望と能力に応じた就業機会の確保のため新たな就業分野の開拓に努めました。
- ・市の広報誌等を利用して、労働派遣事業の派遣会員を募集した。
- ・女性会員の入会推進を図るため、就業先の確保に努めた。
- ・労働者派遣先に会員を派遣した。
- ・現役世代を支える分野のニーズ把握に努めた。
- ・未就業会員に各職種就業先を提供、紹介した。

### (5) 会議・研修会

センターの運営を円滑にするため、職員の資質の向上を目的とした研修会に参加し合わせて情報の習得に努めました。

- ・安全適正就業推進委員出席と併せ、独自の安全委員会を開催。
- ・国や県連合会の開催した講習会に参加。
- ・技能習得のための講習会に参加。
- ・地域包括ケアシステムの構築に向けた地域づくり推進ワーキング研修会に参し情報交換を行った。

## 3. 事業の実績

令和4年度の請負事業実績は、受託事業件数2,937件、就業実人員256人、就業延人員23,855人で、契約金額は149,765千円であった。前年度実績を101.8%上回ることができ、地域住民や企業の要請に応えることができた。また、労働者派遣事業の契約金額につきましても、派遣会員の人手不足等もありましたが、21,903千円と前年度実績103.5%上回ることができました。

今後も地域社会の活性化に寄与するとともに、大月、都留、上野原各事務所管内で協力し就業機会の確保・安全適正就業の推進を図り会員各位が社会の担い手のリーダーとしての自覚と誇りを持ち就業意識の醸成とシルバー人材センターの基本理念に立った組織運営に努めてまいりました。

以上、報告の概要ですが詳細については以下資料のとおりであります。